

平成 23 年上期（1～6 月）における
工場立地動向調査について（速報）

平成 23 年 10 月
経済産業省 経済産業政策局
地域経済産業グループ

目 次

はじめに	1
1. 全国の工場立地の概況	2
2. 業種別の立地状況.....	6
3. 地域別の立地状況.....	8
4. 立地地点選定理由.....	14
5. 研究所及び外資系企業の立地状況	16

(別添) 付図、付表

はじめに

工場立地動向調査は、工場立地法（昭和34年法律第24号）第2条に基づき昭和42年から実施されており、その対象は全国の製造業、電気業（水力発電所、地熱発電所を除く。）、ガス業及び熱供給業のための工場又は事業場を建設する目的をもって取得（借地を含む。）された1,000㎡以上の用地（埋立予定地を含む。）である。また昭和60年からは研究所（民間の試験研究機関で、主として前記4業種に係る分野の研究を行うものに限る。）の用地も併せて調査している。今回は、平成23年上期（1～6月期）の調査結果をとりまとめたものである。

配布、回収の状況等については、調査対象とみられる565の事業所等に調査票を配布し、その後、回収の段階で調査対象外と判明した事業所及び調査拒否、回収不能分を除いた406枚の調査票（工場・事業場403件、研究所3件）についてとりまとめた。

なお、本文中の数値について、平成22年までの立地件数、立地面積の数値については確報値を使用している。

1. 全国の工場立地の概況

平成23年上期（1～6月期）の工場立地件数は403件で、前年同期（平成22年1～6月期 352件）比で14.5%の増加、前期（平成22年7～12月期 434件）比で7.1%減少となった。

工場立地面積は419haで、前年同期（499ha）比で16.1%の減少、前期（573ha）比で26.8%の減少となった。

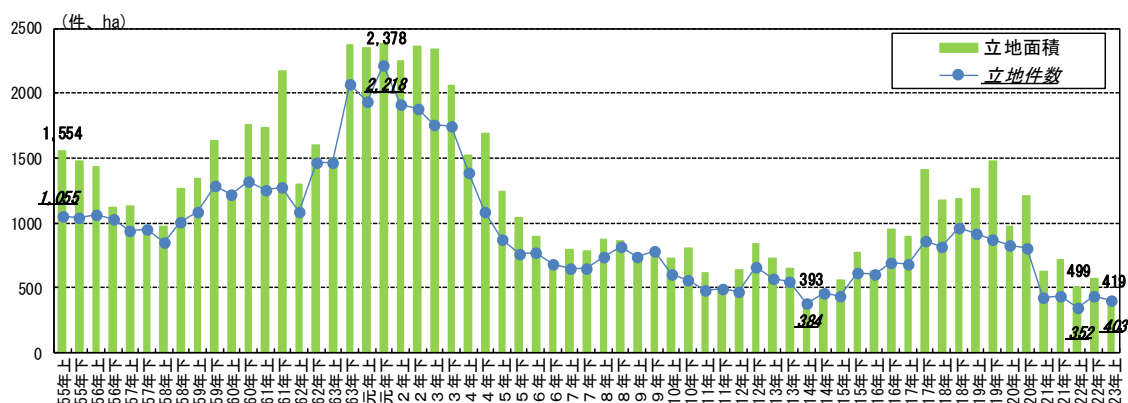
（1）工場立地件数・面積

平成23年上期（1～6月期）の工場立地件数は403件で、前年同期（352件）比で14.5%の増加、前期（434件）比で7.1%減少となった。

工場立地面積は419haで、前年同期（499ha）比で16.1%の減少、前期（573ha）比で26.8%の減少となった。

（図－1）

図－1 工場立地件数・面積の推移（期別）



<参考>東日本大震災における被災地域の工場立地の概況

東日本大震災により災害救助法の適用を受けた7県（東京都を除く、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県及び千葉県）での工場立地件数は52件（前年同期比11.9%減、前期比37.3%減）、同7県における工場立地面積は60ha（前年同期比63.9%減、前期比70.4%減）であった。

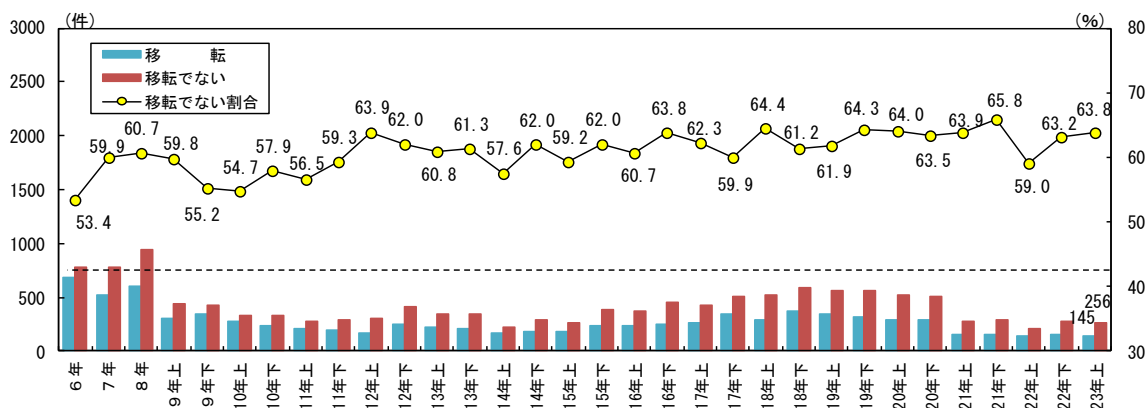
(2) 移転立地及び移転でない立地の状況

立地件数を移転立地と移転でない立地（自社の既存工場の全部又は一部を廃止する計画を伴わない新規立地）の別に見ると、移転立地件数は145件となり、移転でない立地件数は256件となった。

移転でない立地件数の割合は63.8%で、前年同期から4.8ポイント増加した。

(図-2)

図-2 移転立地と移転でない立地件数及び割合の推移



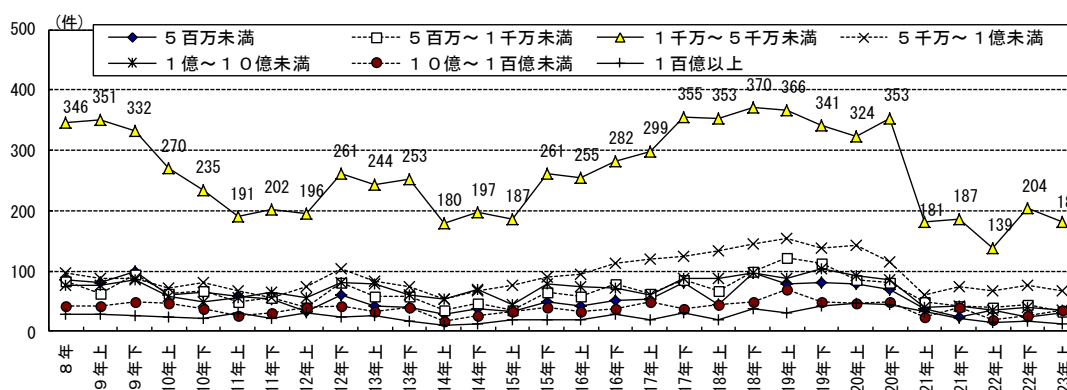
(注) 平成6年～8年までの立地件数は、各年のトータルである。

(3) 企業規模（資本金規模）別の立地の状況

企業規模（資本金規模）別立地件数は、資本金1千万円～5千万円未満の企業による立地件数が181件となり全立地件数の45.8%を占めた。

また、資本金1千万円未満の企業による立地は全体の15.9%にあたる63件となり、前年同期から5.7ポイント減少した。(図-3)

図-3 企業規模（資本金規模）別の立地件数の半期ごとの推移



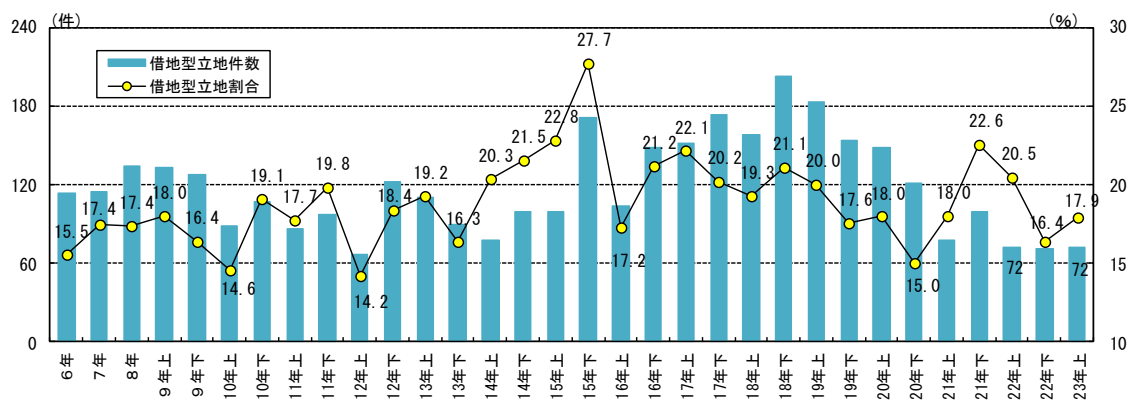
(注) 平成6～8年までは、各年の立地件数に1/2を掛けて半期ベースに直したものである。

(4) 借地による立地の状況

借地による立地件数は72件で、前年同期(72件)と同水準となった。

全立地件数に占める借地による立地の割合は17.9%で、前年同期から2.6ポイント減少した。(図-4)

図-4 借地による立地件数と全立地件数に占める割合の推移



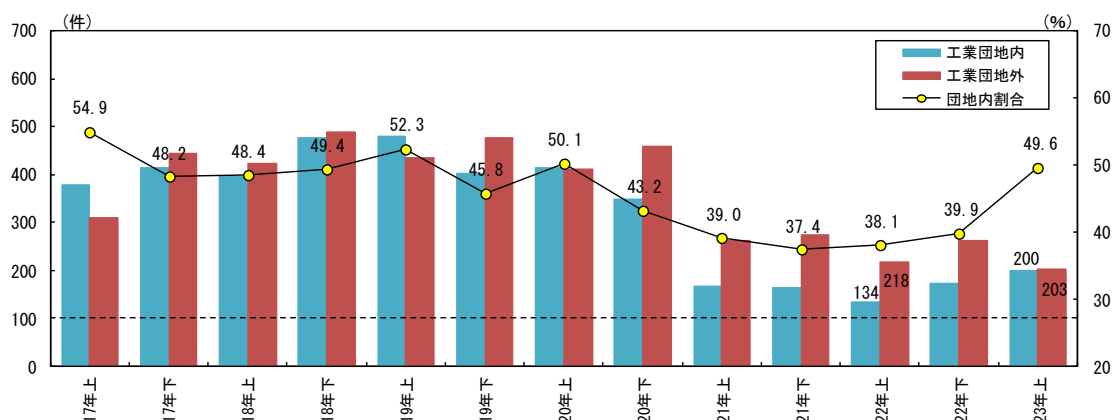
(注) 平成6～8年までの立地件数は、各年の立地件数に1/2を掛けて半期ベースに直したものである。

(5) 工業団地への立地の状況

工業団地への立地件数は200件で、前年同期(134件)比で66件の増加となった。

また、全立地件数に占める工業団地への立地割合は49.6%で、前年同期から11.5ポイント増加した。(図-5)

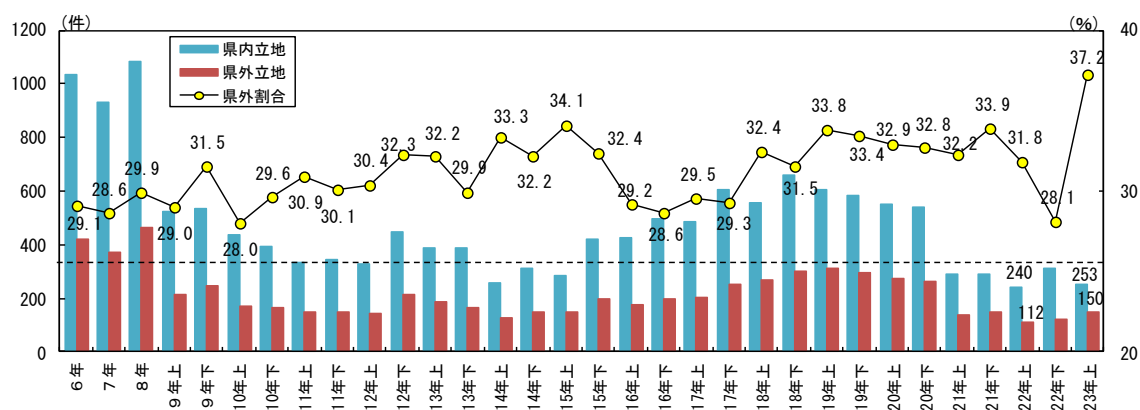
図-5 工業団地内の立地件数と全立地件数に占める割合の推移



(6) 県外立地の状況

県外立地（本社所在都道府県以外への立地）件数は150件、県内立地件数は253件となり、全立地件数に占める県外立地の割合は37.2%となった。県外立地割合は、前年同期に比べ5.4ポイント増加し、平成6年以降、最も高い割合となった。（図－6）

図－6 県外立地件数と全立地件数に占める割合の推移



(注) 平成6年～8年までの立地件数は、各年のトータルである。

2. 業種別の立地状況

業種別の立地件数は、多い順に①食料品（77件）、②金属製品（54件）、③化学工業（34件）の順となった。

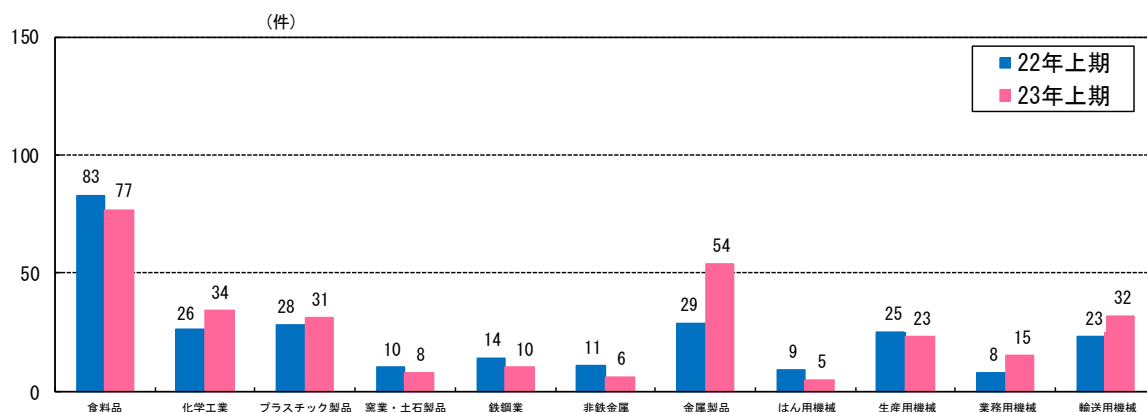
前年同期との比較では、金属製品（前年同期29件→54件）、輸送用機械（前年同期23件→32件）等の15業種で立地件数が増加し、食料品（前年同期83件→77件）、非鉄金属（前年同期11件→6件）等の8業種で減少した。

立地件数を業種別に見ると、立地件数の多い順に①食料品77件（構成比19.1%）、②金属製品54件（同13.4%）、③化学工業34件（同8.4%）、④輸送用機械32件（同7.9%）、⑤プラスチック製品31件（同7.7%）の順となった。（図-7）

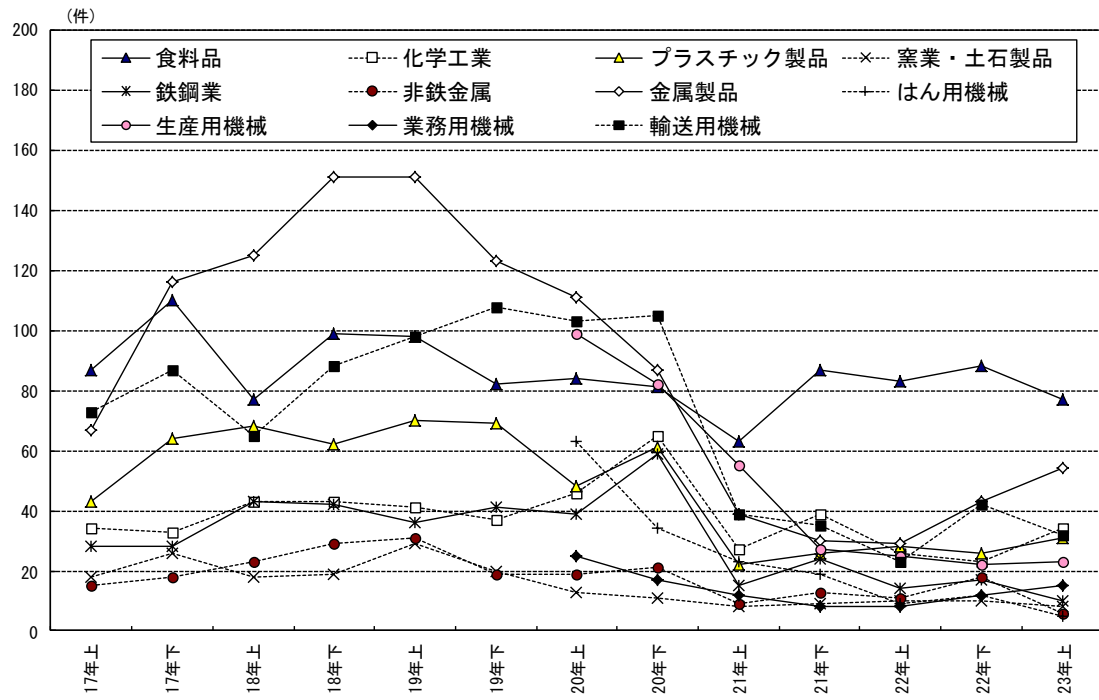
立地件数が多い業種の内訳のうち特徴的なものを見ると、②では金属製品では建設用・建築用金属（前年同期7件→14件）、④輸送用機械では自動車・同部品（同17件→25件）と増加した。

一方、立地件数が前年同期比で減少した業種は、食料品（前年同期83件→77件）、非鉄金属（同11件→6件）等の8業種となった。（付表18-1、20）

図-7 主な業種の立地件数の前年同期との比較



図－8 主な業種の立地件数の半期ごとの推移



3. 地域別の立地状況

立地件数が多かった地域は、上位から順に①東海（76件）、②関東内陸（62件）、③南東北（43件）であり、これら3地域で全体の約45%を占めた。

都道府県別では、立地件数の多い順に①兵庫県（27件）、②愛知県（23件）、③岐阜県（22件）、④新潟県（19件）、⑤静岡県、福岡県（各19件）となった。

（1）地域ブロック別の比較

立地件数を地域ブロック別に見ると、件数の多い順に、①東海76件（構成比18.9%）、②関東内陸62件（同15.4%）、③南東北43件（同10.7%）となり、これら地域で全体の44.9%を占めた。

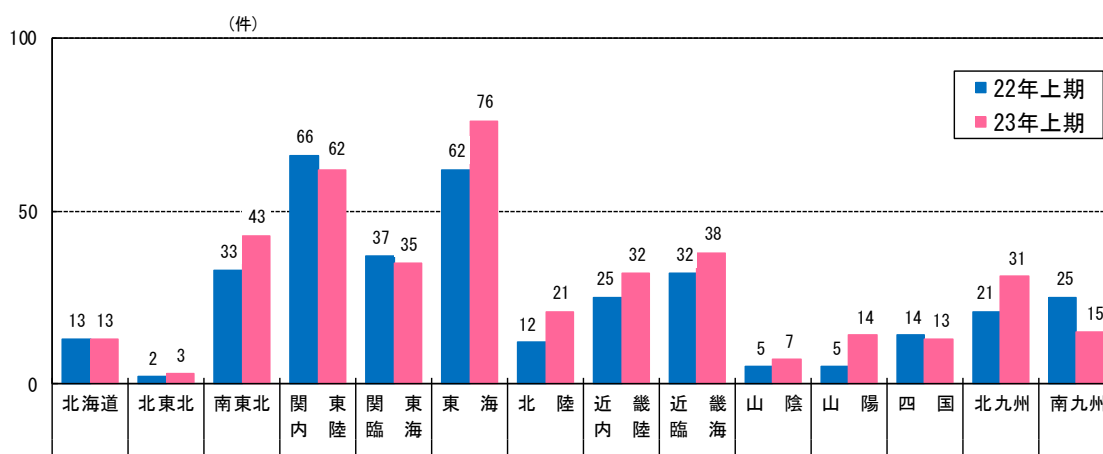
また、立地面積では、上位から順に、①東海（78ha）、②関東内陸（56ha）③南東北（44ha）の順となり、これら地域で全体の42.4%を占めた。

また、立地面積の前年同期比では、増加面積が多い順に、①北陸23ha（前年同期11ha→34ha）、②山陽15ha（同11ha→27ha）、③関東臨海14ha（同20ha→34ha）となり、面積が減少した地域は、関東内陸68ha（同124ha→56ha）、東海46ha（同124ha→78ha）、南東北25ha（同69ha→44ha）、南九州11ha（同19ha→8ha）等の6地域で減少した。

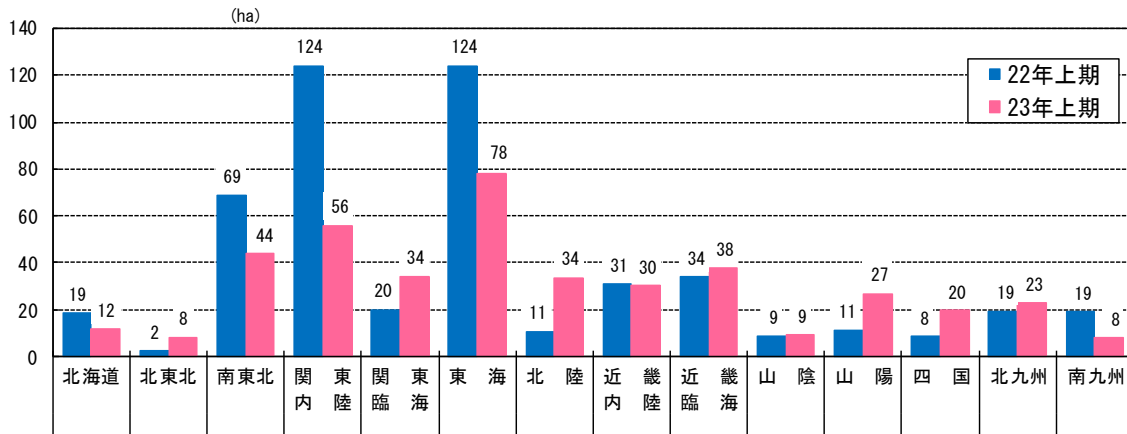
工場立地1件当たりの立地面積で見ると、北東北2.72（ha/件）、山陽1.92（ha/件）、北陸1.60（ha/件）で大きく、南九州0.54（ha/件）、北九州0.73（ha/件）、北海道0.89（ha/件）で小さくなっている。

（図－9、10、11）

図－9 地域ブロック別の立地件数の前年同期との比較



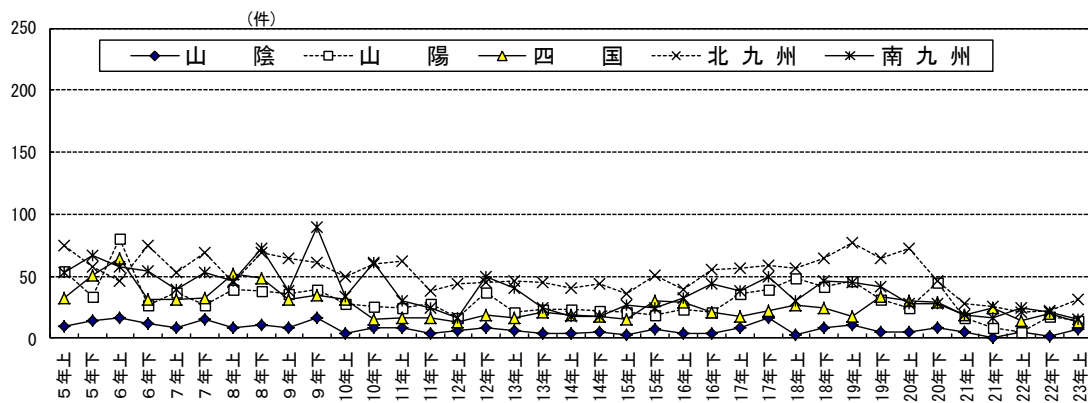
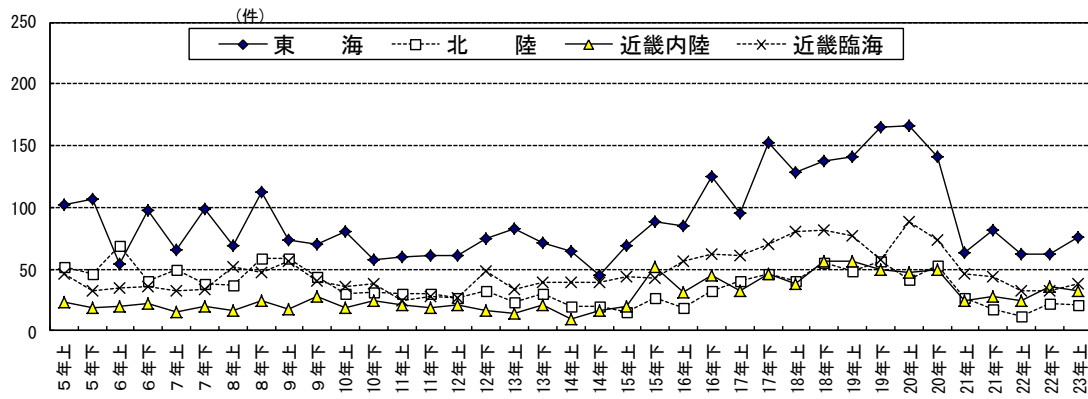
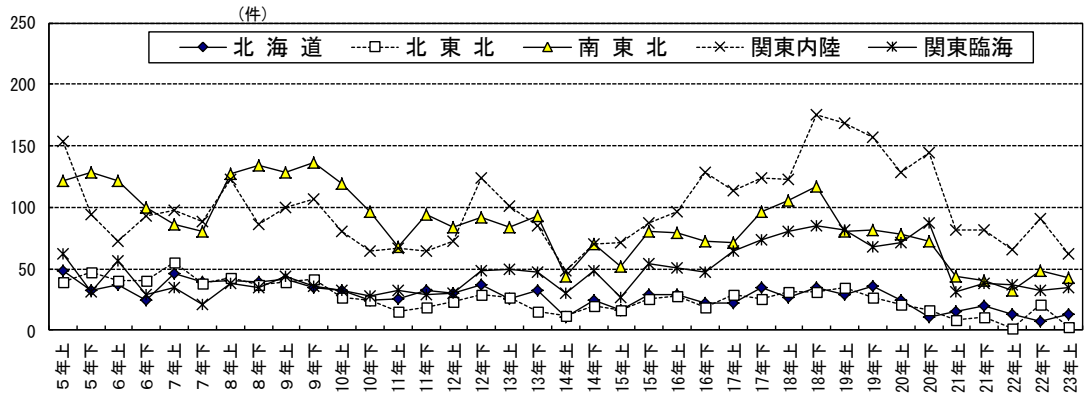
図－１０ 地域ブロック別の立地面積の前年同期との比較



各地域に含まれる都道府県

北海道	北海道	近畿内陸	滋賀、京都、奈良
北東北	青森、岩手、秋田	近畿臨海	大阪、兵庫、和歌山
南東北	宮城、山形、福島、新潟	山陰	鳥取、島根
関東内陸	茨城、栃木、群馬、山梨、長野	山陽	岡山、広島、山口
関東臨海	埼玉、千葉、東京、神奈川	四国	徳島、香川、愛媛、高知
東海	静岡、愛知、岐阜、三重	北九州	福岡、佐賀、長崎、大分
北陸	富山、石川、福井	南九州	熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

図－１１ 地域ブロック別の立地件数の半期ごとの推移



(2) 都道府県別の比較

立地件数を都道府県別にみると、立地件数の多い順に、①兵庫県（27件）、②愛知県（23件）、③岐阜県（22件）、④新潟県（19件）、⑤静岡県、福岡県（各17件）、⑦埼玉県、長野県（各15件）、⑨三重県（各14件）、⑩北海道、群馬県、滋賀県（各13件）となった。

立地件数の前年同期比増減を都道府県別にみると、増加件数の多い順に①岐阜県（15件増）、②新潟県（10件増）、③福井県、山梨県、長野県（各8件増）となった。

立地面積を都道府県別にみると、立地面積の多い順に、①兵庫県（33ha）、②岐阜県（25ha）、③静岡県（22ha）、④愛知県（21ha）、⑤山梨県（20ha）となった。

工場立地1件あたりの立地面積が大きかったのは、上位から順に①秋田県（2.99ha/件）、②徳島県（2.67ha/件）、③石川県（2.59ha/件）、④岩手県（2.20ha/件）、⑤鳥取県（2.15ha/件）であり、一方で、1件あたりの立地面積が小さかったのは、①大阪府（各0.19ha/件）、②島根県（0.23ha/件）、③東京都（0.25ha/件）、④奈良県（0.33ha/件）⑤愛媛県（0.34ha/件）であった。

(3) 地域ブロック別の工場立地の概況

a. 北海道

- ・立地件数：13件（前年同期比増減なし）
- ・立地面積：12ha（前年同期比7ha減、前期比37.5%減）
- ・主な立地業種：①食料品（9件）

b. 北東北（青森県、岩手県、秋田県）

- ・立地件数：3件（前年同期比1件増、前期比50.0%増）
- ・立地面積：8ha（前年同期比6ha増、前期比231.8%増）
- ・主な立地業種：①木材・木製品、生産用機械、輸送用機械（各1件）

c. 南東北（宮城県、山形県、福島県、新潟県）

- ・立地件数：43件（前年同期比10件増、前期比30.3%増）
- ・立地面積：44ha（前年同期比25ha減、前期比36.2%減）
- ・主な立地業種：①食料品（9件）②金属製品（6件）③プラスチック製品、窯業・土石製品、鉄鋼業、電気機械（各3件）

d. 関東内陸（茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県）

- ・立地件数：62件（前年同期比4件減、前期比6.1%減）
- ・立地面積：56ha（前年同期比68ha減、前期比55.0%減）
- ・主な立地業種：①食料品（11件）②金属製品、業務用機械（各8件）

e. 関東臨海（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）

- ・立地件数：35件（前年同期比2件減、前期比5.4%減）
- ・立地面積：34ha（前年同期比14ha増、前期比71.2%増）
- ・主な立地業種：①食料品（6件）②プラスチック製品（5件）③生産用機械、輸送用機械（各4件）

f. 東海（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）

- ・立地件数：76件（前年同期比14件増、前期比22.6%増）
- ・立地面積：78ha（前年同期比46ha減、前期比36.9%減）
- ・主な立地業種：①輸送用機械（16件）②金属製品（13件）③化学工業（12件）

g. 北陸（富山県、石川県、福井県）

- ・立地件数：21件（前年同期比9件増、前期比75.0%増）
- ・立地面積：34ha（前年同期比23ha増、前期比213.8%増）
- ・主な立地業種：①食料品（4件）、②化学工業、プラスチック製品（各3件）

- h. 近畿内陸（滋賀県、京都府、奈良県）
- ・立地件数：32件（前年同期比7件増、前期比28.0%増）
 - ・立地面積：30ha（前年同期比1ha減、前期比2.9%減）
 - ・主な立地業種：①金属製品（5件）②飲料・たばこ等、生産用機械（各4件）
- i. 近畿臨海（大阪府、兵庫県、和歌山県）
- ・立地件数：38件（前年同期比6件増、前期比18.8%増）
 - ・立地面積：38ha（前年同期比4ha増、前期比11.2%増）
 - ・主な立地業種：①金属製品（6件）②食料品、プラスチック製品（各5）
- j. 山陰（鳥取県、島根県）
- ・立地件数：7件（前年同期比2件増、前期比40.0%増）
 - ・立地面積：9ha（前年同期比0.4ha増、前期比4.9%増）
 - ・主な立地業種：①プラスチック製品（3件）
- k. 山陽（岡山県、広島県、山口県）
- ・立地件数：14件（前年同期比9件増、前期比180.0%増）
 - ・立地面積：27ha（前年同期比15ha増、前期比136.5%増）
 - ・主な立地業種：①食料品、パルプ・紙（各3件）、③金属製品、輸送用機械（各2件）
- l. 四国（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）
- ・立地件数：13件（前年同期比1件減、前期比7.1%減）
 - ・立地面積：20ha（前年同期比11ha増、前期比133.3%増）
 - ・主な立地業種：①食料品、木材・木製品、化学工業、電子・デバイス（各2件）
- m. 北九州（福岡県、佐賀県、長崎県、大分県）
- ・立地件数：31件（前年同期比10件増、前期比47.6%増）
 - ・立地面積：23ha（前年同期比3ha増、前期比17.9%増）
 - ・主な立地業種：①食料品（12件）②金属製品（7件）、プラスチック製品（3件）
- n. 南九州（熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）
- ・立地件数：15件（前年同期比10件減、前期比40.0%減）
 - ・立地面積：8ha（前年同期比11ha減、前期比57.8%減）
 - ・主な立地業種：①食料品（5件）②プラスチック製品（3件）、③生産用機械（2件）

4. 立地地点選定理由

工場立地における立地地点選定に際して、事業者が最も重視した項目は、①本社・他の自社工場への近接性、②工場団地である、③原材料等の入手の便、関連企業への近接性であった。

(1) 立地地点選定理由

新設立地に当たって重視した項目は、「最も重視した」、「重視した」とともに、「本社・他の自社工場への近接性」が最も多かった。また、例年上位である「地価」は今回も上位となっているが、「工業団地である」、「人材・労働力の確保」も重視されてきている。

また、立地に当たって「国・地方自治体の助成」「地方自治体の誠意・積極性・迅速性」を重視したと回答した企業が、337社（有効回答企業数）中、それぞれ、52社（15.4%）、43社（12.8%）あった。

	(最も重視)	(重視)
本社・他の自社工場への近接性	44件	95件
工業団地である	17件	70件
原材料等の入手の便	15件	27件
関連企業への近接性	15件	38件
人材・労働力の確保	12件	47件
その他	12件	28件
市場への近接性	10件	44件
地価	9件	60件
周辺環境からの制約が少ない	7件	57件
地方自治体の誠意・積極性・迅速性	5件	38件
高速道路を利用できる	5件	36件
工業用水の確保	4件	9件
国・地方自治体の助成	3件	49件
空港・湾岸・鉄道等を利用できる	3件	7件
流通業・対事業所サービス業への近接性	1件	13件
経営者等の個人的つながり	1件	8件

(複数回答)

(2) 海外立地と比較しての国内立地選定理由

海外立地を検討した企業は26社（前年同期7社）あり、これらの企業が最終的に国内での立地を選択した理由は「良質な労働力の確保」「国・県・市・町・村の助成・協力」が多かった。

良質な労働力の確保	9件
国・県・市・町・村の助成・協力	9件
原材料等の入手の便	7件
関連企業への近接性	7件
市場への近接性	6件
流通機構が整備されている	5件
政情・治安の安定	4件
その他	3件
産業基盤が整備されている	1件
学術研究機関の充実（産学共同等）	1件
知的財産権の保護への配慮	1件

(複数回答)

5. 研究所及び外資系企業の立地状況

研究所（工場敷地内に研究開発機能を付設する場合を除く。以下同。）の立地件数は3件で、前年同期比で5件の減少となった。研究開発機能の付設を予定している事業者数は83件で、前年同期比で7件の減少となった。

外資系企業の立地件数は2件で、前年同期で1件の減少となった。

(1) 研究所の立地状況

研究所の立地件数は3件で、前年同期比で5件の減少となった。都道府県別では茨城県、神奈川県、長野県が各1件であった（図-12、12-1）

研究開発機能の付設予定件数は83件で、前年同期比で7件の減少となった。

地域別では東海（20件）、近畿臨海（10件）、南九州（9件）となった。

（付表27）

図-12 研究所の立地件数の推移

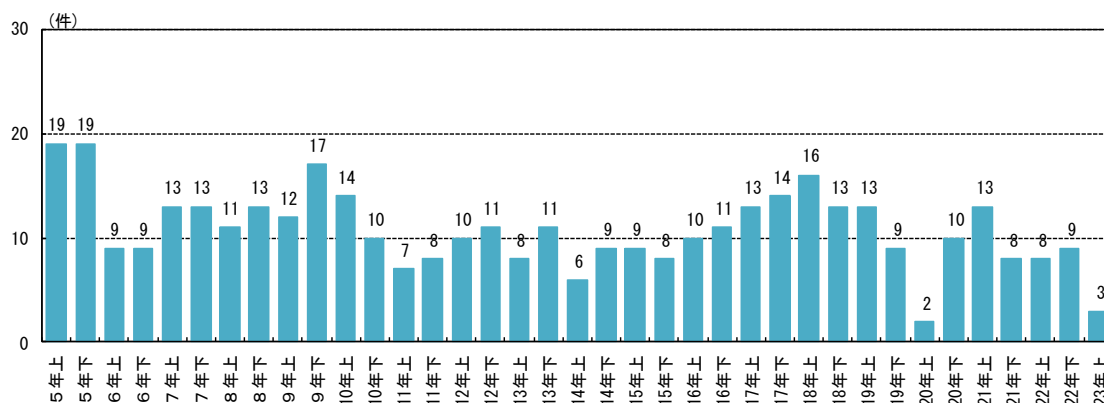
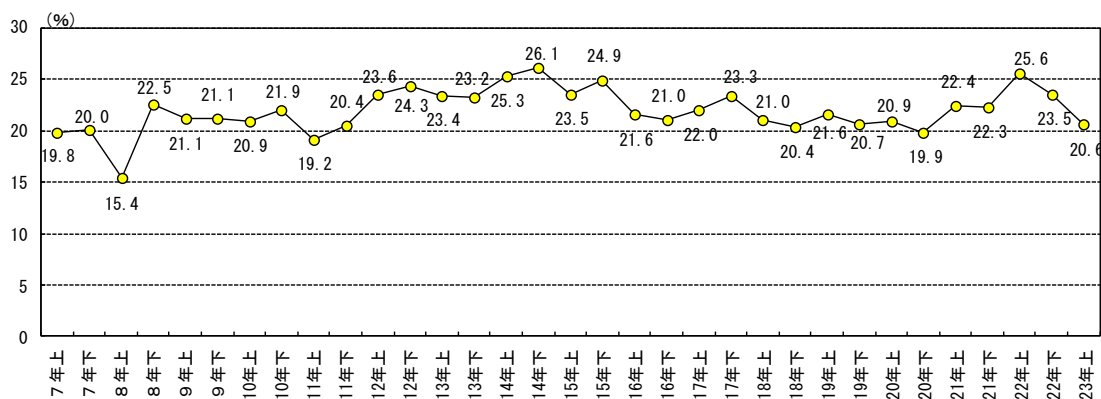


図-12-1 研究機能の付設を予定している件数の割合の推移

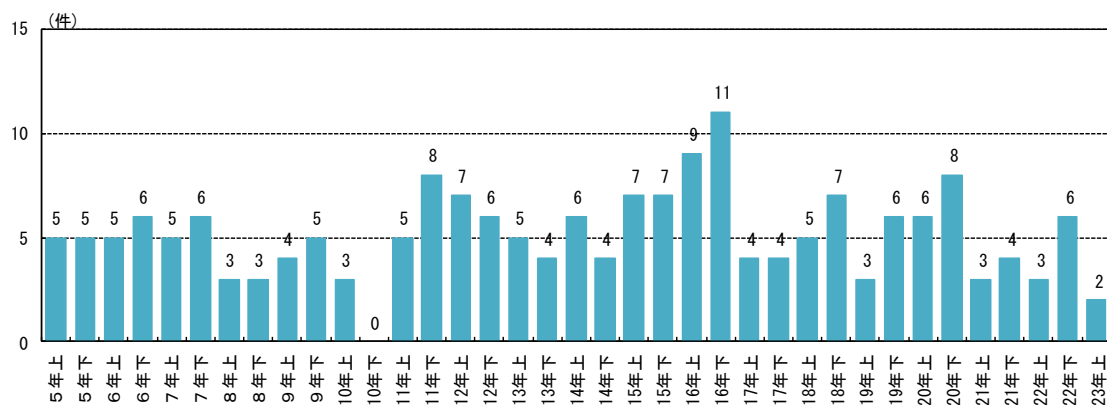


(2) 外資系企業の立地状況

外資系企業（外資比率50%以上の企業）の工場立地件数は2件で、前年同期比で1件の減少となった。（図－13）

地域別では関東内陸が2件であった。

図－13 外資系企業の立地件数の推移



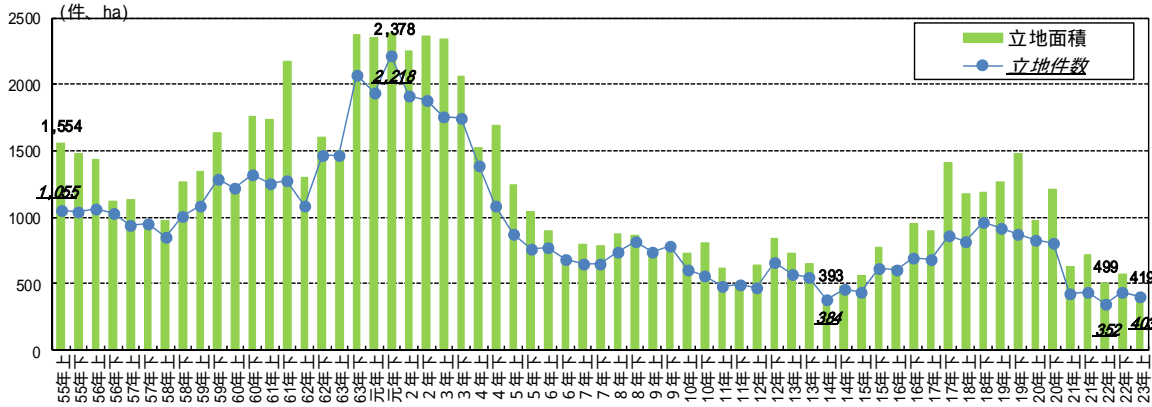
付 図

(再掲含む)

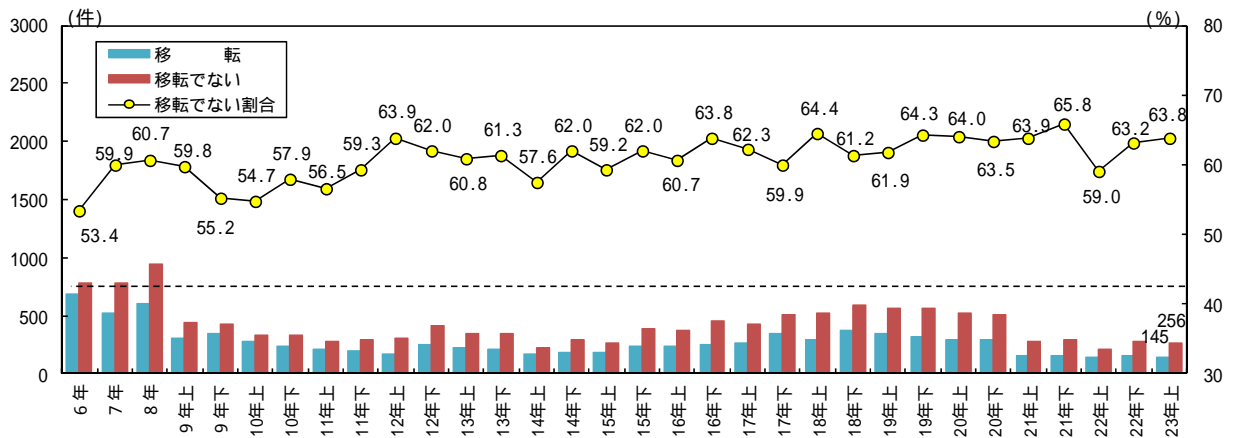
目次

付図 - 1	(再掲)工場立地件数・面積の推移(期別)	1
付図 - 2	(再掲)移転立地と移転でない立地件数及び割合の推移(期別)	1
付図 - 3	(再掲)企業規模(資本金規模)別の立地件数の推移(期別)	1
付図 - 4	(再掲)借地による立地件数と全立地件数に占める 割合の推移(期別)	2
付図 - 5	(再掲)工業団地内の立地件数と全立地件数に占める 割合の推移(期別)	2
付図 - 6	(再掲)県外立地件数と全立地件数に占める割合の推移(期別)	2
付図 - 7	(再掲)主な業種の立地件数の前年同期との比較	3
付図 - 8	(再掲)主な業種の立地件数の推移(期別)	3
付図 - 8 - 1	主な業種の敷地面積の前年同期との比較	4
付図 - 8 - 2	立地件数の多い業種の地域ブロック別分布状況	4
付図 - 8 - 3	立地件数の多い業種の都道府県別分布状況	5
付図 - 8 - 4	4型業種分類別の立地件数の推移(期別)	6
付図 - 8 - 5	4型業種分類別の立地件数の前年同期との比較	6
付図 - 8 - 6	4型業種分類別の敷地面積の前年同期との比較	6
付図 - 9	(再掲)地域ブロック別の立地件数の前年同期との比較	7
付図 - 10	(再掲)地域ブロック別の立地面積の前年同期との比較	7
付図 - 11	(再掲)地域ブロック別の立地件数の推移(期別)	8
付図 - 12	(再掲)研究所の立地件数の推移(期別)	9
付図 - 12 - 1	研究機能の付設を予定している工場の割合の推移(期別) ..	9
付図 - 13	(再掲)外資系企業の立地件数の推移(期別)	9

付図 - 1 工場立地件数・面積の推移（期別）

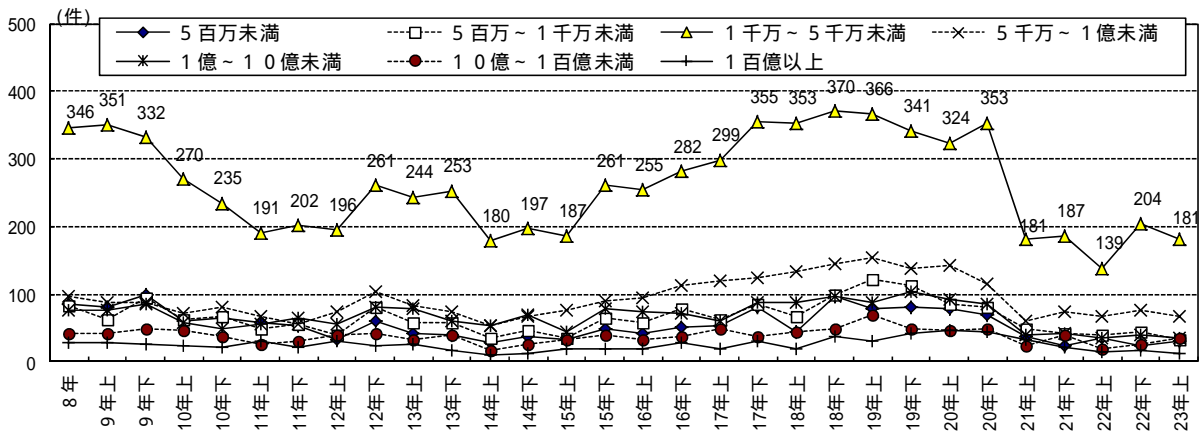


付図 - 2 移転立地と移転でない立地件数及び割合の推移（期別）



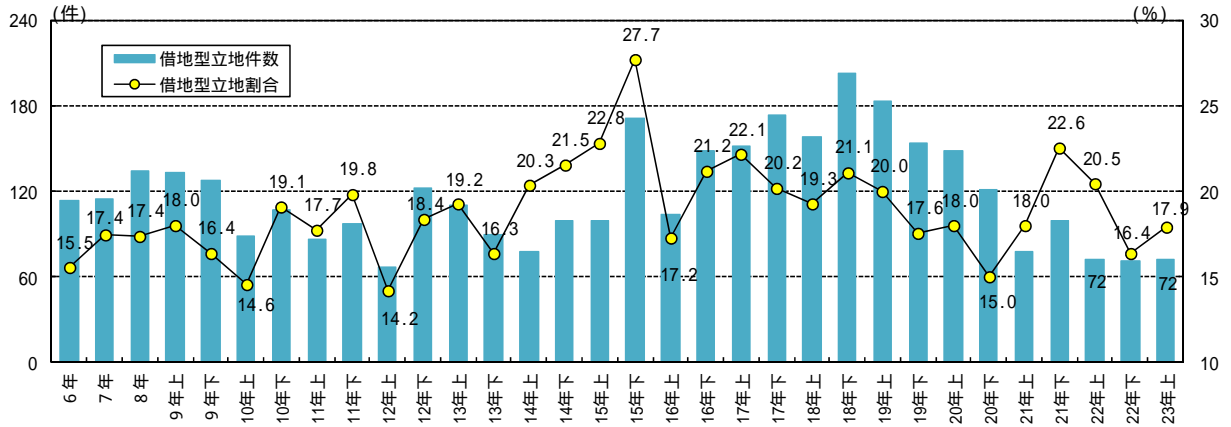
(注) 平成6年～8年までの立地件数は、各年のトータルである。

付図 - 3 企業規模（資本金規模）別の立地件数の推移（期別）



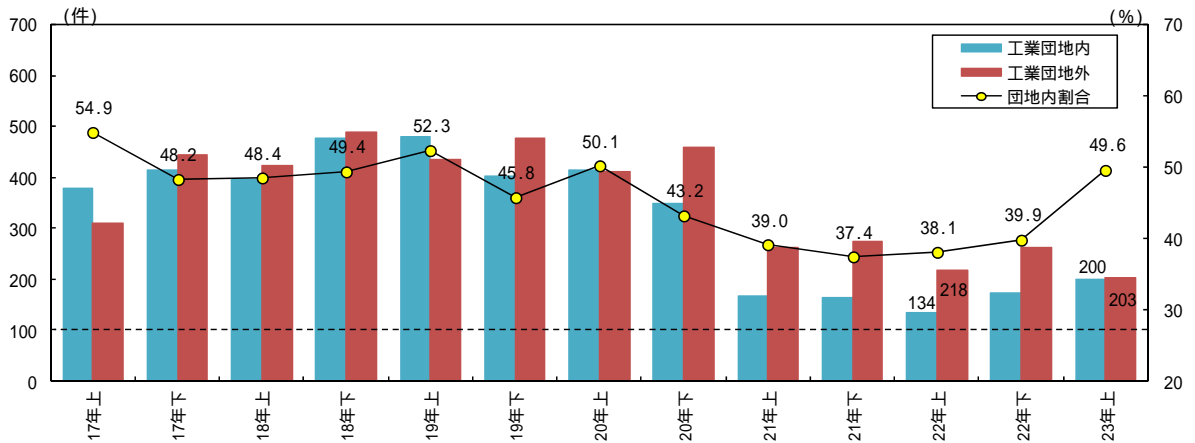
(注) 平成6～8年までは、各年の立地件数に1/2を掛けて半期ベースに直したものである。

付図 - 4 借地による立地件数と全立地件数に占める割合の推移（期別）

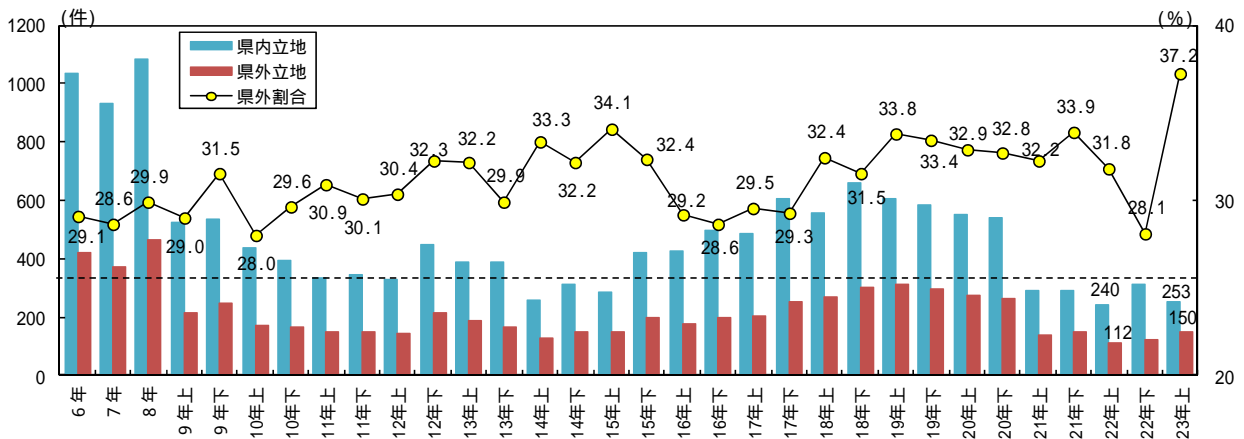


(注) 平成6～8年までの立地件数は、各年の立地件数に1/2を掛けて半期ベースに直したものである。

付図 - 5 工業団地内の立地件数と全立地件数に占める割合の推移（期別）

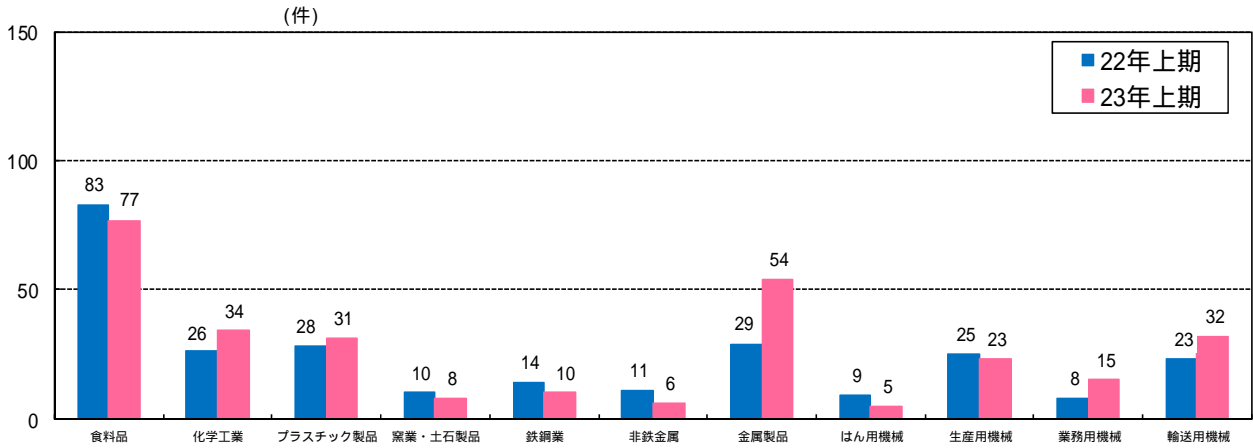


付図 - 6 県外立地件数と全立地件数に占める割合の推移（期別）

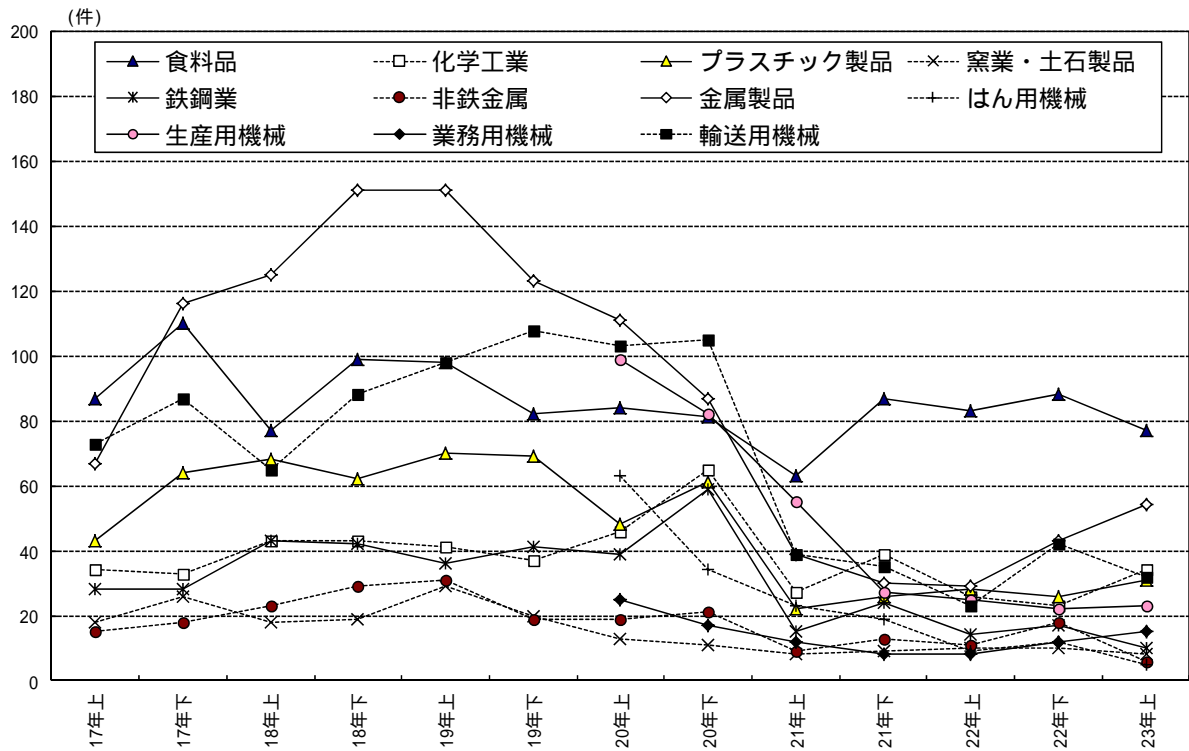


(注) 平成6年～8年までの立地件数は、各年のトータルである。

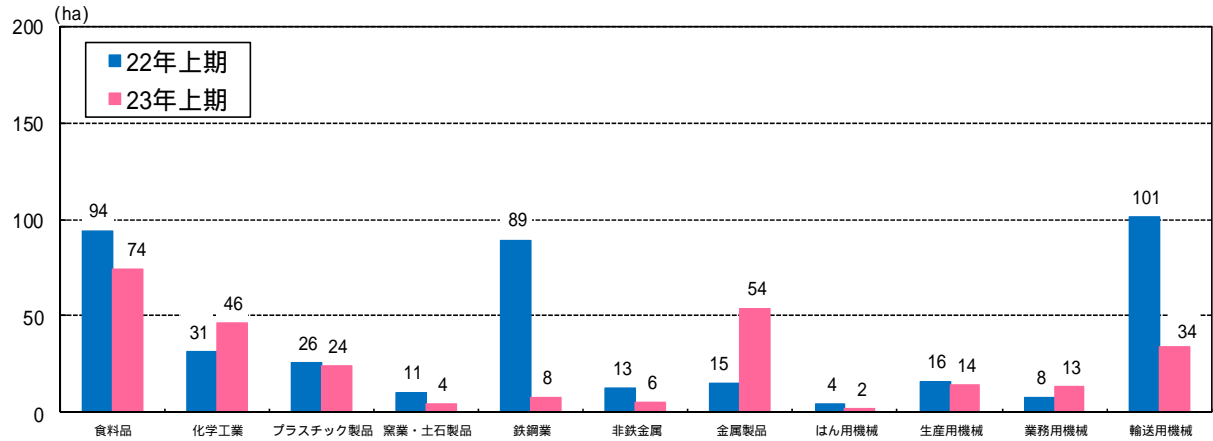
付図 - 7 主な業種の立地件数の前年同期との比較



付図 - 8 主な業種の立地件数の推移（期別）



付図 - 8 - 1 主な業種の敷地面積の前年同期との比較



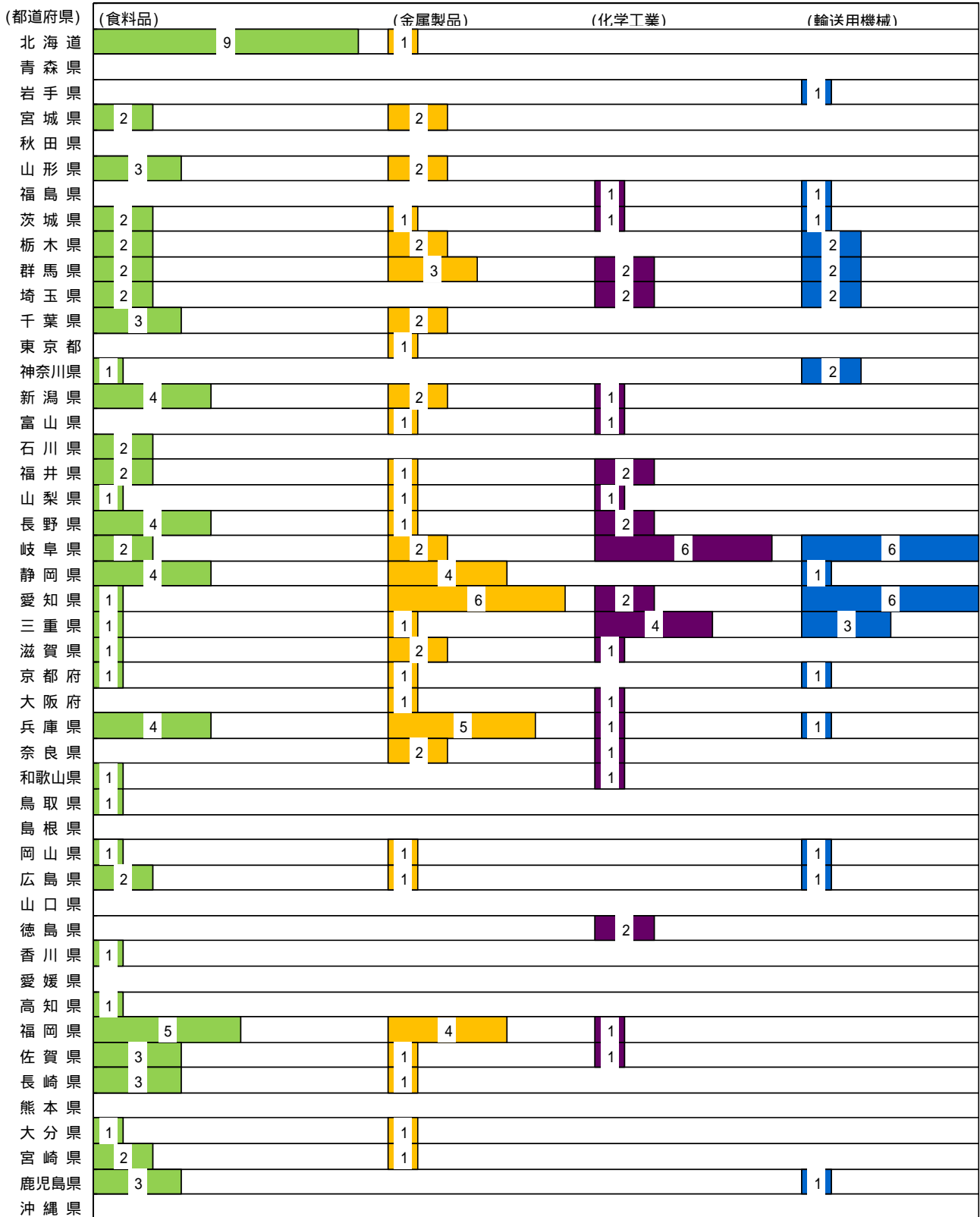
付図 - 8 - 2 立地件数の多い業種の地域ブロック別分布状況

(14地域)	(食料品)	(金属製品)	(化学工業)	(輸送用機械)
北海道	9	1	0	0
北東北	0	0	0	1
南東北	9	6	2	1
関東内陸	11	8	6	5
関東臨海	6	3	2	4
東海	8	13	12	16
北陸	4	2	3	0
近畿内陸	2	5	2	1
近畿臨海	5	6	3	1
山陰	1	0	0	0
山陽	3	2	0	2
四国	2	0	2	0
北九州	12	7	2	0
南九州	5	1	0	1

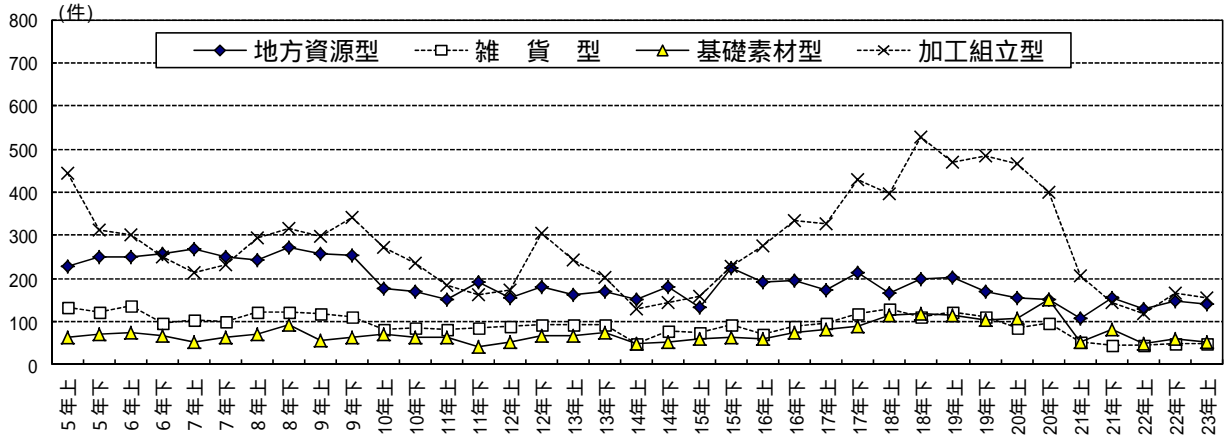
(備考) 各地域に含まれる都道府県

北海道	北海道	近畿内陸	滋賀、京都、奈良
北東北	青森、岩手、秋田	近畿臨海	大阪、兵庫、和歌山
南東北	宮城、山形、福島、新潟	山陰	鳥取、島根
関東内陸	茨城、栃木、群馬、山梨、長野	山陽	岡山、広島、山口
関東臨海	埼玉、千葉、東京、神奈川	四国	徳島、香川、愛媛、高知
東海	静岡、愛知、岐阜、三重	北九州	福岡、佐賀、長崎、大分
北陸	富山、石川、福井	南九州	熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

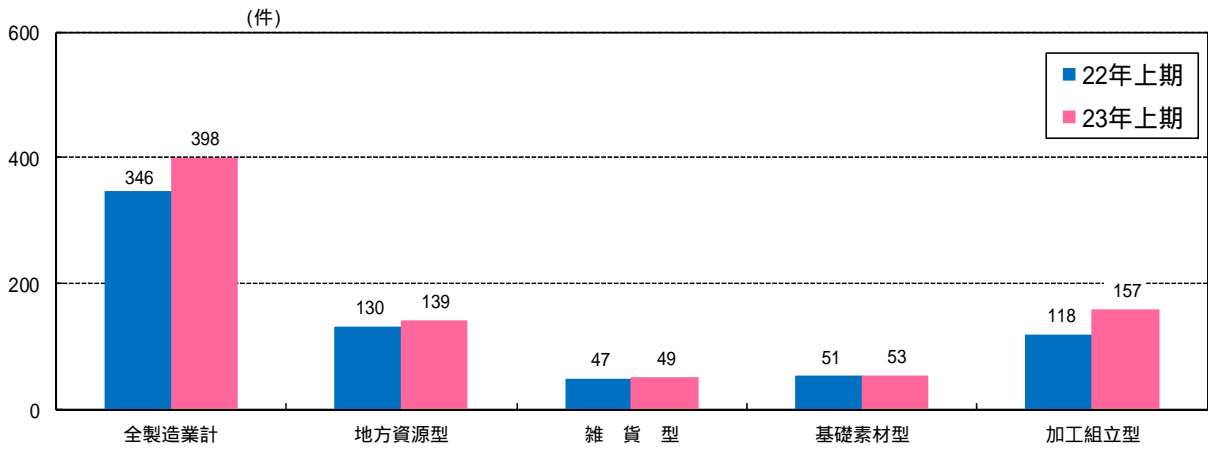
付図 - 8 - 3 立地件数の多い業種の都道府県別分布状況



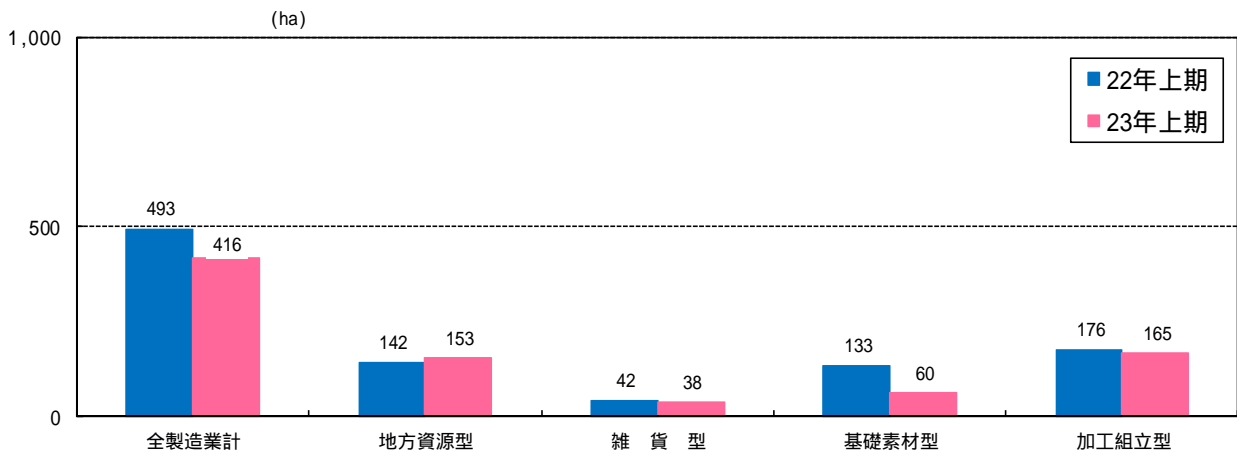
付図 - 8 - 4 4型業種分類別の立地件数の推移（期別）



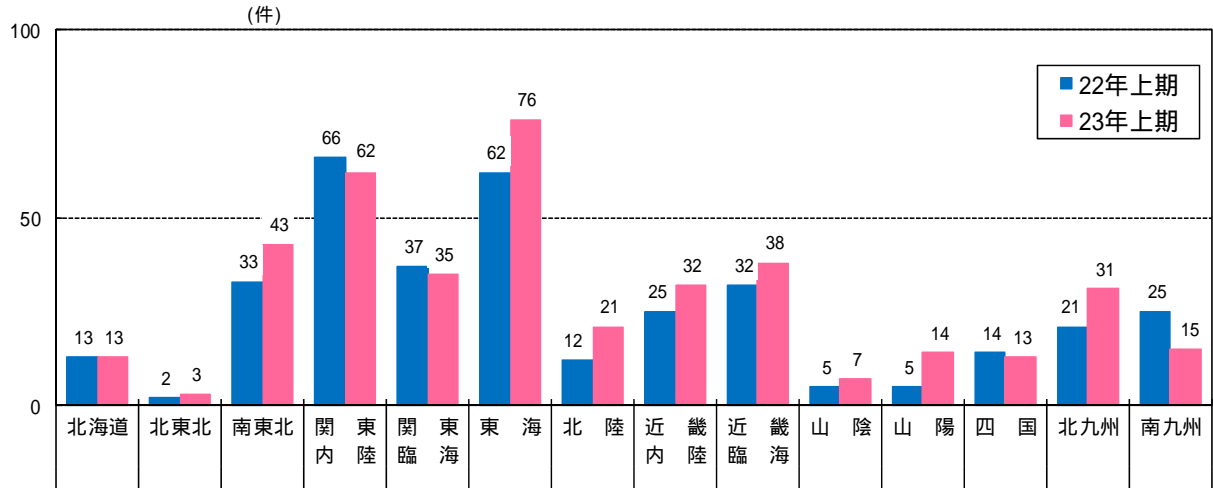
付図 - 8 - 5 4型業種分類別の立地件数の前年同期との比較



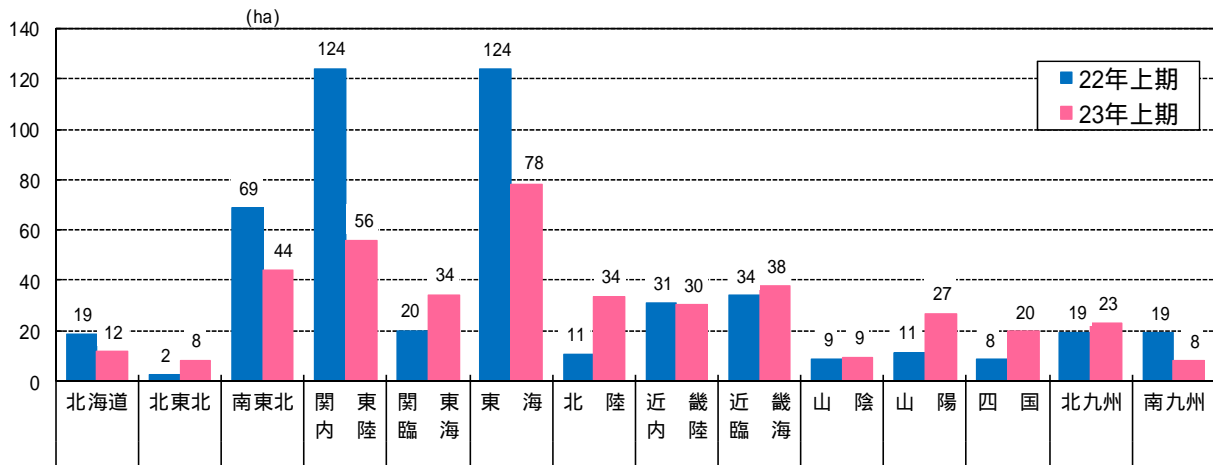
付図 - 8 - 6 4型業種分類別の敷地面積の前年同期との比較



付図 - 9 地域ブロック別の立地件数の前年同期との比較

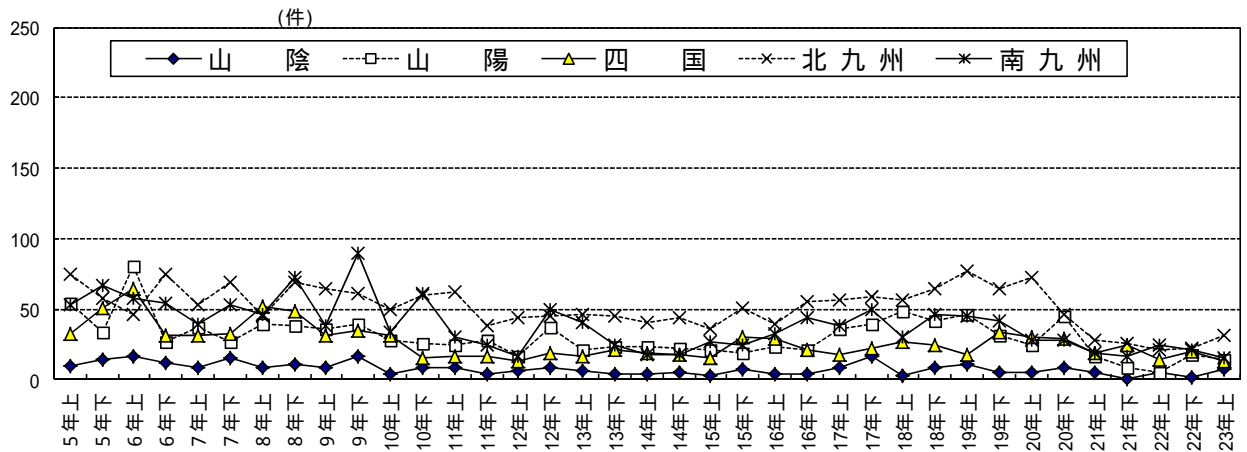
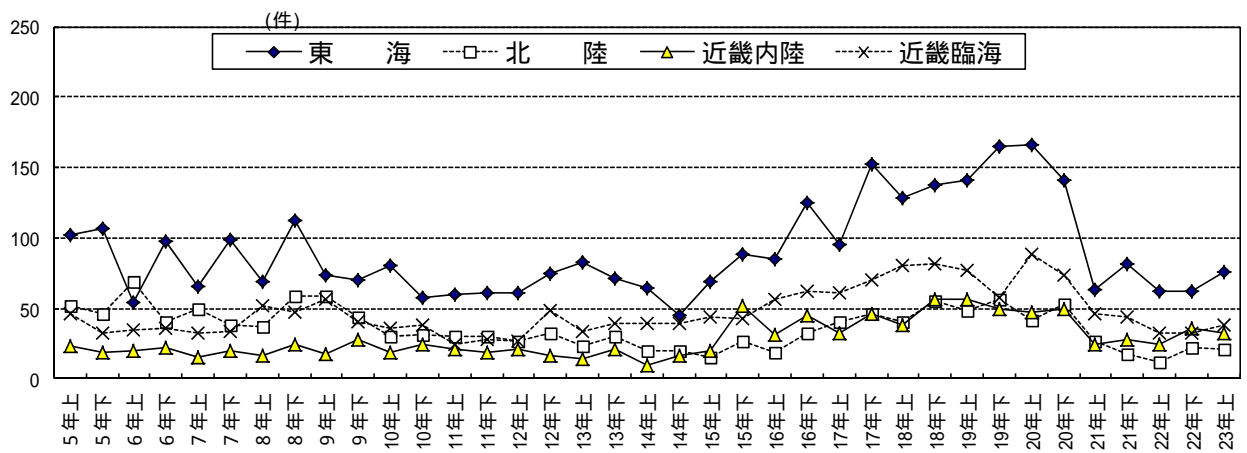
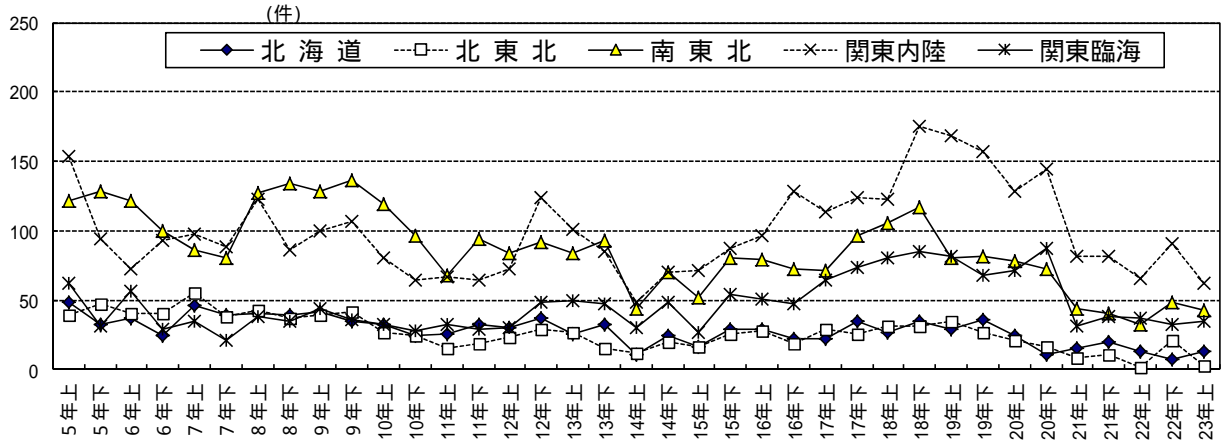


付図 - 10 地域ブロック別の立地面積の前年同期との比較

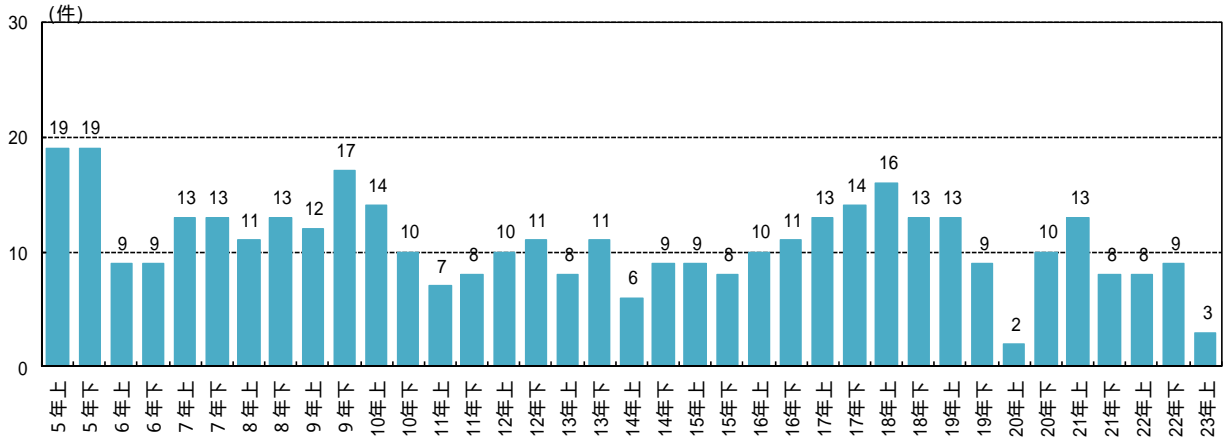


地方資源型	食料品、飲料・たばこ・飼料、繊維工業、木材・木製品、パルプ・紙、窯業・土石製品
雑貨型	家具、印刷、プラスチック製品、ゴム製品、皮革、その他製造業
基礎資材型	化学工業、石油・石炭製品、鉄鋼業、非鉄金属
加工組立型	金属製品、はん用機械、生産用機械、業務用機械、電子・デバイス、電気機械、情報通信機械、輸送用機械

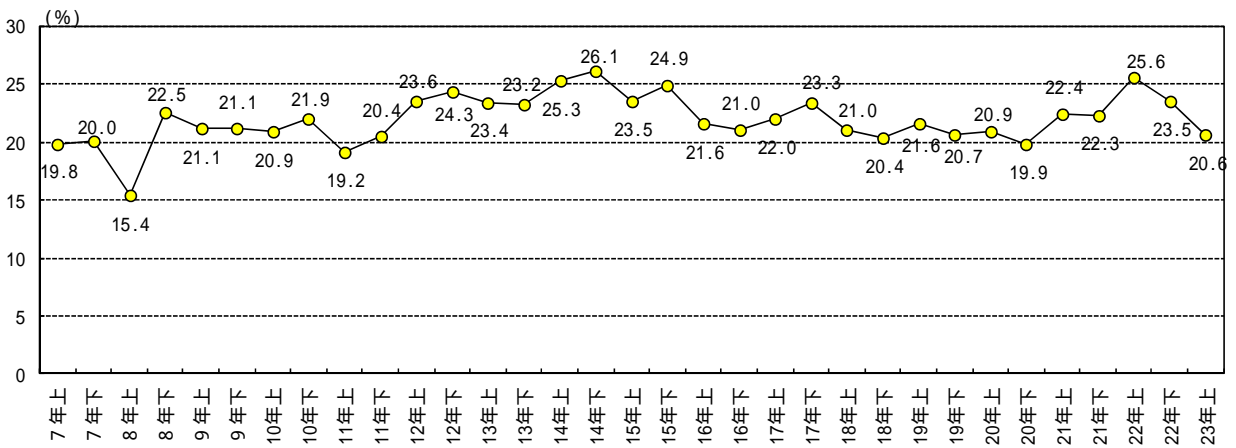
付図 - 11 地域ブロック別の立地件数の推移（期別）



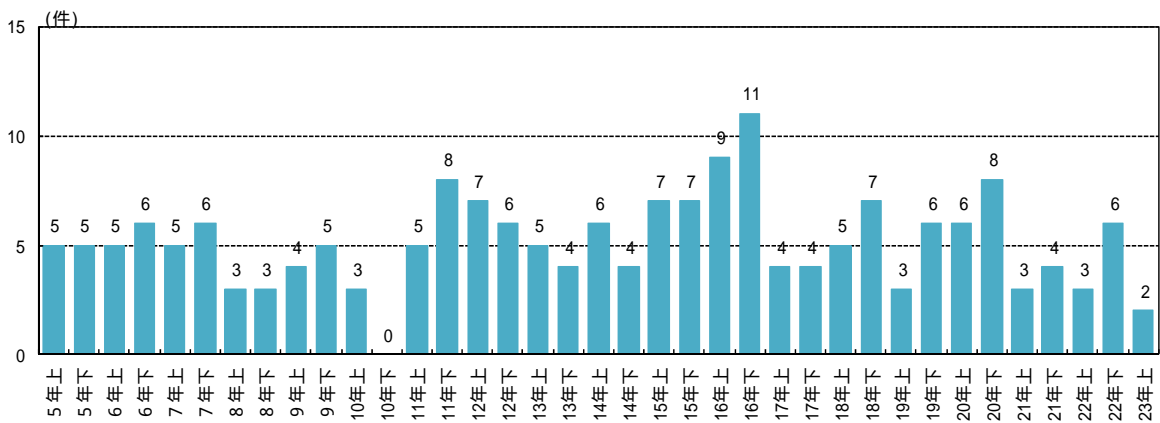
付図 - 1 2 研究所の立地件数の推移（期別）



付図 - 1 2 - 1 研究機能の付設を予定している工場の割合の推移（期別）



付図 - 1 3 外資系企業の立地件数の推移（期別）



(注) 外資比率 50%以上の企業

付 表

※年度確報の個別表リストを参照ください